

1 研究主題

(令和2年度～令和6年度 5か年継続研究 5年次)

根室の風土を生かし、心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ

社会に開かれた学校教育の創造

2 研究推進の概要

(1)活動方針

- ①「生きる力」「知・徳・体」の調和のとれた豊かな人材育成を目指し、組織的に研究と修養に務める。
- ②道小、道中、管内校長会、根室管内市町教育委員会、根室教育局等との連携を図る。

(2)活動の重点

- ①経営の実践力を高めるための管内研究大会を開催する。
- ②5か年の継続研究の5年次として研究内容の共通理解を深め、諸課題の解決を目指すための年度とする。また、全道大会での提言や参加につながるよう研究協議を重視する。

(3)研究内容

①「教育課題」に関する内容

研究課題：家庭・地域や校種間における連携・協働の推進における校長の在り方

②「組織・運営」に関する内容

研究課題：学校経営ビジョンの実現と活力ある組織づくりにおける校長の在り方

③「指導・育成」に関する内容

研究課題：これからの学校運営を担うリーダーの育成と校長の在り方

④「教育課程」に関する内容

研究課題：「社会に開かれた教育課程」の実現

3 研究の成果と課題

(1)成果

根室管内校長会研究大会を5か年計画の5年目として会同により開催することができた。継続研究の最終年度として、研究内容を深めることができ、特に令和6年度は道中帯広大会での提言発表を研究部として創り上げることができ大きな成果だったと言える。分科会においては、レポートを持ち寄り、発表、協議を経て各々の実践研究を深化させられたことは大変意義深く、会員相互の学校経営力の研鑽に繋がったと言える。次年度も「管内教育推進の重点」及び校長会・教頭会の研究内容の関連をもたせた取組を推進し、学校課題の解決における各校の検証改善サイクルを、レポートを通して共有・実践し、管内教育の質の向上を目指していきたい。

(2)課題

今年度も「管内教育推進の重点」と校長会及び教頭会の研究内容と研究の視点を関連付けながら研究を推進したが、十分に関連づけられない部分も見られた。次年度、「管内教育推進の重点」と校長会及び教頭会の研究の視点の関連性をさらに明示化し、各校の校長と教頭の連携と共通理解のもと、本会の研究を推進できるよう取り組んでいく。

1 研究主題

(令和7年度～令和11年度 5か年継続研究 1年次)

根室の風土を生かし、心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ

社会に開かれた学校教育の創造

2 研究主題設定の趣旨

学校教育においては、教育基本法や学校教育法が目指す普遍的な教育の根幹を踏まえ、グローバル化の進展や人工知能の飛躍的な進化など、社会の加速度的な変化を受け止め、児童生徒に未来を作り出していくために必要な力をはぐくむ必要がある。また、新学習指導要領においては、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、連携協力しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちにはぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現の大切さについても述べている。

このことを踏まえ、私たちは根室の地に刻まれた深い歴史と先人の志を継承し、生涯学習社会における学校教育の望ましいあり方を校長という立場から究明し、充実した学校経営を推進するために上記の研究主題を設定した。

3 研究内容

(1) 「教育課題」に関する内容

研究課題：家庭・地域や校種間における連携・協働の推進における校長の在り方

(2) 「組織・運営」に関する内容

研究課題：学校経営ビジョンの実現と活力ある組織づくりにおける校長の在り方

(3) 「指導・育成」に関する内容

研究課題：これからの学校運営を担うリーダーの育成と校長の在り方

(4) 「教育課程」に関する内容

研究課題：「社会に開かれた教育課程」の実現

4 研究推進計画

(1) 研修部会を計画的に開催し、研究を推進する。

(2) 令和7年度は、道小研究大会の運営が必要なため、根室管内校長研究大会を実施せず、一人1レポートを作成するのみとし、研究内容の成果や課題を書面で交流する。

(3) 全日中、全連小、道中、道小の各研究大会に派遣する。

5 研究組織

(1) 各単位校長会から研修担当が集まり研修部を構成する。必要に応じ研修部会を適宜行うとともに、年次ごとの研究課題・視点に沿って研究を推進する。

(2) 道小研究大会は根室大会のため、研修部として大会運営のサポートを組織的に行う。

6 その他

(1) 全ての学校種で共通課題とし、道小道中の研究理論をふまえたものとする。

(2) 本年度も管内教育推進の重点および教頭会の研究との関連を踏まえ、各課題における校長のアセスメント能力とファシリテーション能力の向上を図る。